



所内 才2回写真コンクール入選作 「夜の橋下」 燃料部 石油課 本島 公司

及ぶ井戸もある。

地質は新才三紀に属し、背斜構造をつくっている。採油層は笹岡層（I層）、かつらね桂根層（II III層）、船川層（IV, V, VI, VII層）、<sup>おんながわ</sup>女川層（VIII層以下）にわたり、現在は深度1,000 m以上あるVII層以下の深部油層の開発が盛んである。

夜の橋下

秋田市八橋油田は本邦最大の産油量をしめしている、国産原油の総産量34万キロリットル中の65%を出している。帝国石油株式会社に属し、延長は南北に約8kmある。明治末期から試掘と探査が行われ現在は深度3,000 mに

昭和29・30年に地質調査所では八橋油田の油田鹹水を主な分析の対象とした地化学調査を行つて、この油田の立体的な研究を開始した。たまたま昭和30年11月に、雄物川ロータリー76号井で、採油試験（J・F・T）があつたので、夜間であつたがこれを見学した。写真はそれの際の橋下の状況で、作業員は暖室で一時休憩中であつた。

◇◇地質調査所月報◇◇

（オ7巻 オ3号）

報 文

- 小関 幸治・郷原 範造：福島県石川町猫啼地区ペグマタイト鉱床調査報告
- 上野 三義：岡山県阿哲地方および広島県帝釈地方の軟珪石鉱床調査報告
- 徳永 重元：石狩炭田空知地区赤平地域における炭層の花粉分析報告
- 齋藤 友三郎：天然産磁硫鉄鉱の磁氣的性質について

概 報

- 松田 武雄：North American 重力計の精度検定
- 小川 健三：群馬県地区重力測定調査報告

◇◇地 質 図◇◇

- 1：50,000 「燧岳」「襟裳岬」「土淵」（以上説明書付）
- 1：200,000 「名古屋」「豊橋」

新刊紹介

吉田 国夫 著 「鉱産物の知識と取引」  
本書はわが国鉱産物資源の商品便覧ともいふべきもので、専門家・当業者は勿論、一般実業人・学生生徒諸氏にとつてもきわめて有益な好著であろう。

発行所

財団法人 通商産業調査会

（東京都千代田区霞ヶ関通産省内）